

## 女性医師バンク（仮称）について

近年、医師国家試験の合格者に占める女性の割合が約3分の1となっているなど、医療全般において女性医師が大きな役割を果たしている。こうした女性医師が出産や育児といったライフステージに対応して、診療を継続できるようにすることは、国民に十分な医療を確保する上で重要な課題となっている。

このため、平成18年度予算において、

- 女性医師がライフステージに応じ、多様な就業形態を通じてキャリア形成していくことができるよう、職業斡旋事業、女性医師バンク（仮称）の設立・運営等を委託事業として創設し、
- また、女性医師の確保を図るため、医療機関を退職等した医師に対し、再就職等を支援するための講習会の実施

を内容とする関係予算（124百万円）を計上した。

今後は、

- 実施主体となる公的団体に運営委託をし、
- できるだけ速やかに女性医師バンク（仮称）を創設することとしている。

なお、女性医師バンク（仮称）の創設にあたり、今後、各都道府県に対しては、貴管内の医療機関からの女性医師バンク（仮称）への求人情報の登録の呼びかけ、女性医師に対する女性医師バンク（仮称）の周知など、女性医師バンク（仮称）の活動に対する協力を依頼する予定であるので、よろしく願います。

医師再就業支援事業の実施（H18年度 新規事業）124百万円

## 1. 要旨

臨床医に占める女性医師の割合は約15%であるが、国家試験合格者では女性の占める割合は3分の1となっており、今後女性医師数は急増していくと予想される。女性医師は出産や育児により労働時間が短くなる傾向があり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進を図り、もって医師確保対策に資する事とする。

## 2. 事業内容

①女性医師バンク（仮称）事業経費106百万円

国から運営委託を受けた公的団体により、全国2箇所の拠点（東京、大阪）を中心として再就業を希望する女性医師に対して職業斡旋を行う。具体的には、公的団体に設置したコンピューターに各医学会等の協力を得つつ女性医師に関するデータベースを構築。他方、女性医師の採用を希望する医療機関の情報収集を行い、就業希望条件がマッチする女性医師に対して当該医療機関を紹介、採用に至るまでの間フォローを行う。なお、女性医師からの就労照会に対しては、専任コンサルタントによるきめ細やかな相談業務を展開。

②再就業講習会経費18百万円

出産等により医療機関を退職した後、再び医療の現場への就業を希望する女性医師に対して、医療の第一線の技能・知識を習得してもらう為の講習会を開催する。期間は約1ヶ月程度で、その間、総合医として、また内科、外科、小児科等個々の診療科別分野を研修する。